

足助商店街活性化計画

- I 足助地区の概要
- II 足助地区商業の現状
- III 商業の魅力と問題点
- IV 基本方針と目標指数
- V 取り組み内容
- VI 事業の推進体制
- VII 活動記録

平成 20 年 1 月 29 日
足 助 商 工 会

I 足助地区の概要

1 「中馬街道」の宿場町として栄えた歴史

- 江戸時代には尾張・三河と信州・美濃を結ぶ交通の要衝として栄え、人や物資が往来し商業も発展した。
- 足助から信州へは主に三河湾で産する塩を馬の背によって運び「塩の道」と呼ばれていた。
- 馬を継いで輸送したことを意味する中継馬がたくさん行き交ったことから、中継馬がなまって「中馬街道」と呼ばれた。

2 大半が山林で占められている大都市近郊型の農山村

- 豊田市東部に位置し、面積は193.27km²である。このうち山林が約86.7%占める。
- 平地は巴川とその支流である足助川に沿ってわずかにひらけている程度である。
- 人口は減少傾向にあり、1万人を下回っている。
- 高齢化も進んでいる。

◆位置図



◆人口・世帯数(人、世帯)

| | 人口 | | | 世帯数 |
|-------|--------|-------|-------|-------|
| | 総数 | 男 | 女 | |
| 平成2年 | 10,659 | 5,158 | 5,501 | 2,652 |
| 平成7年 | 10,492 | 5,124 | 5,368 | 2,712 |
| 平成12年 | 10,066 | 4,926 | 5,140 | 2,709 |
| 平成17年 | 9,408 | 4,815 | 4,593 | 2,755 |

◆年齢別構成(人)

| | 0～14歳 | 構成比 | 15～64歳 | 構成比 | 65歳以上 | 構成比 |
|------|-------|-----|--------|-----|-------|-----|
| H2年 | 1,969 | 18% | 6,643 | 62% | 2,047 | 19% |
| H7年 | 1,687 | 16% | 6,382 | 61% | 2,423 | 23% |
| H12年 | 1,471 | 15% | 5,827 | 58% | 2,767 | 27% |
| H17年 | 1,134 | 12% | 5,334 | 57% | 2,941 | 31% |

| | | | | | |
|------------|-----|--|-----|--|-----|
| H17年愛知県構成比 | 15% | | 67% | | 19% |
|------------|-----|--|-----|--|-----|

資料:愛知県統計書

3 交通アクセスが不便な地区

- 鉄道が通じておらず自動車交通に頼るしかない(バス、車)。
- 都心(名古屋)から公共交通を利用した場合乗り継ぎが多く時間がかかる。
- 平常時は車で豊田市中心部へ約30分、名古屋市へ約60分の所要時間距離であるが、休日には自動車交通量が2～3倍に増大し、さらに紅葉の観光シーズンには交通渋滞が発生する。

◆アクセス方法の具体例

【自家用車、観光バス】

- 関西方面から 名神高速道路(名古屋IC)から瀬戸長久手道路(長久手IC)下車。猿投グリーンロード(力石IC)を出て、国道153号線進む。
- 関東方面から 東名高速道路(豊田東IC)から東海環状自動車道(豊田勘八IC)下車。国道153号線進む。

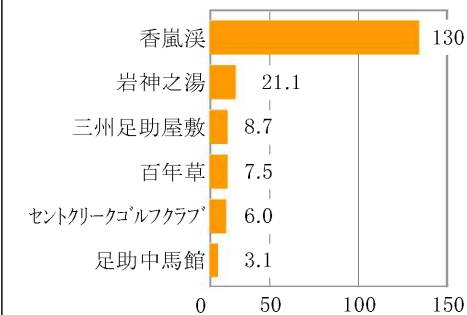
【公共交通(名古屋から)】

- 名古屋 ++++++ 岡崎 ===== 足助(香嵐渓)
 - 名古屋 ++++++ 豊田市(梅坪) ++++++ 豊田市(猿投) ===== 足助(香嵐渓)
 - 名古屋 ++++++ 知立 ++++++ 豊田市(猿投) ===== 足助(香嵐渓)
- +++++ 名鉄電車、名古屋市営地下鉄 ===== 名鉄バス、足助バス

4 香嵐渓の紅葉シーズンを筆頭に四季折々の観光資源がある

- 香嵐渓の年間入り込み客数は、平成17年減少しているものの約130万人の集客がある。
- 香嵐渓の紅葉シーズンである11月に来街客数が集中している。
- 中馬のおひなさんやたんころりん等のまちなかでのイベントにより紅葉季節以外での賑わいもある。

◆足助町の主な観光地別客数(万人)



◆香嵐渓 月別入り込み客数(人)

| | | | |
|-----|--------|-----|-----------|
| 1月 | 20,118 | 7月 | 34,935 |
| 2月 | 83,418 | 8月 | 86,329 |
| 3月 | 88,513 | 9月 | 23,953 |
| 4月 | 75,934 | 10月 | 53,165 |
| 5月 | 58,283 | 11月 | 700,699 |
| 6月 | 26,095 | 12月 | 51,403 |
| (人) | | 年間計 | 1,302,845 |

◆香嵐渓 入り込み客数 年推移

| | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 平成2年 | 平成7年 | 平成12年 | 平成17年 |
| 1,098千人 | 1,294千人 | 1,520千人 | 1,302千人 |

資料:愛知県観光レクリエーション利用者統計

II 足助地区商業の現状

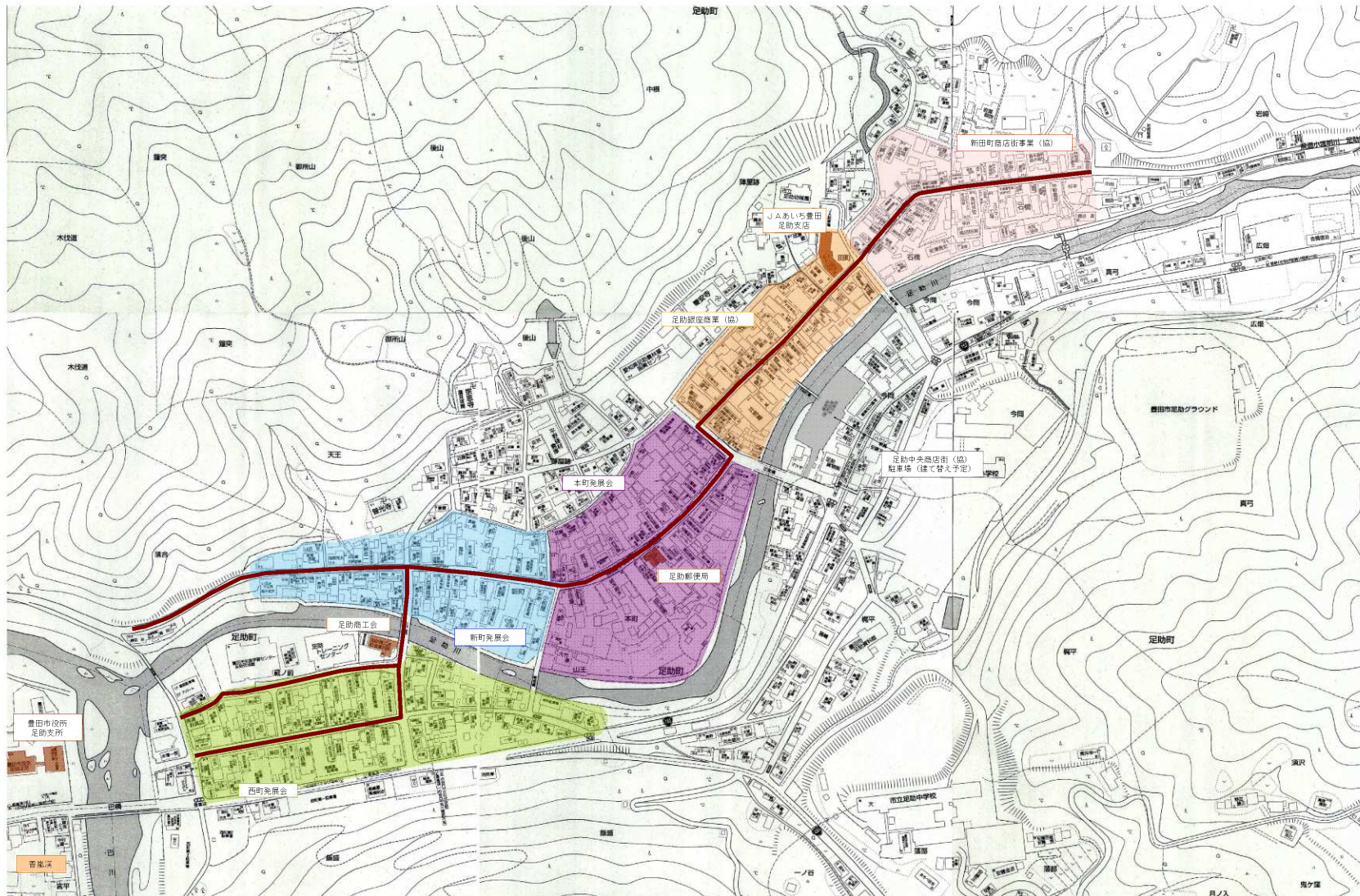
1 商業団体等の実態について

- ・現在5つの商業団体があり、組合員数は132である。
- ・業種は小売業が最も多く、次いでサービス業、飲食業となっている。

◆商業団体別組合員数

| 新田町商店街事業(協) | 足助銀座商業(協) | 本町発展会 | 新町発展会 | 西町発展会 |
|-------------|-----------|-------|-------|-------|
| 25 | 29 | 28 | 18 | 32 |

◆商店街分布図



◆業種別構成比

| | % |
|-------|-------|
| 小売業 | 51.06 |
| 飲食業 | 17.02 |
| サービス業 | 19.15 |
| 製造業 | 10.64 |
| 建設業 | 2.13 |

(資料: 足助商工会アンケート調査)

III 商業の魅力と問題点

1 魅力

① 観光資源が年間を通して豊富である。

- ・もみじの名所として全国に名高い香嵐渓をはじめとして多くの自然資源を有している。
- ・春は中馬のおひなさん、夏はたんころりんなど独自性の高い催事が四季折々に工夫されている。



② 江戸・明治・大正・昭和と歴史を感じさせる重みのある街並みが残っている。

- ・古い町並みを守る、景観整備事業を展開している。
- ・「塩の道」「中馬街道」「足助まつり」等、生活文化が受け継がれている。



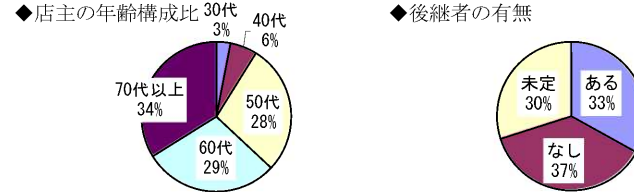
③ 国道153号バイパスの開通、足助地区の道路や下水道などインフラ整備や街並み保存の計画がある。

| | |
|------------------------|---|
| 基本方針 | 資料:足助地区まちづくり事業案(豊田市都市整備部都市整備課) |
| 1 歴史・自然を生かしたまちづくり | 山並みや河川といった自然と調和した歴史・文化的なまち並や、景観を次世代に引き継ぐとともに、全国的に有名な香嵐渓などの地域資源を活かした足助らしい景観に配慮したまちづくりを進めます。 |
| 2 安全・安心で快適な暮らしやすいまちづくり | 大人から子供まで、安全・安心・快適に暮らすために必要な住環境を進めることにより定住化を進めます。 来訪者や高齢者及び子供など、誰もが快適なユニバーサルデザインによるまちづくりを進めます。 |
| 3 活力あるまちづくり | 観光交流振興や商業振興政策と連携した活力あるまちづくりを進めます。 また、足助を育んできた歴史・文化と自然とまちが繋がりを、賑わいの空間づくりを進めます。 |
| 事業メニュー | <ul style="list-style-type: none"> ● 景観 歴史的なまち並みの保存と周辺景観の保全 ● 交通 安全な歩行者空間の確保と動線の強化 ● 生活環境 生活基盤整備による住み良いまちづくり ● 防災 災害に強いまちづくり ※ その他 下水道整備事業、景観規制づくり |

2 問題点

① 店主の高齢化、後継者不足問題が深刻である

- ・店主の年齢構成は、70歳以上が34%と最も高く、50歳以上が9割を占めている。人口の年齢構成同様に高齢化の傾向にある。
- ・後継者がいないという回答は約4割で、後継者未定も合わせると7割となる。
- ・商店数、販売額が減少の傾向にある。減少の要因の1つとして、店主の高齢化や後継者不足が挙げられる。



◆年間販売額の推移 (万円)

| | 平成14年 | 平成16年 | 差(H16-H14) | 比(H16/H14) |
|------|-------------|-------------|-------------|------------|
| 足助地区 | 592,558 | 543,879 | -48,679 | 91.8% |
| 豊田市 | 35,883,186 | 35,955,467 | 72,281 | 100.2% |
| 愛知県 | 805,987,623 | 793,760,801 | -12,226,822 | 98.5% |

◆商店数(事業所数)の推移

| | 平成14年 | 平成16年 | 差 | 比 |
|------|--------|--------|--------|-------|
| 足助地区 | 119 | 116 | -3 | 97.5% |
| 豊田市 | 2,313 | 2,211 | -102 | 95.6% |
| 愛知県 | 65,689 | 61,375 | -4,314 | 93.4% |

資料:あいちの商業

② 魅力ある観光資源が商業に十分には活かされていない

- ・香嵐渓の来客数は、平成17年減少しているものの約130万人と高い集客数である。(1頁参照)
- ・香嵐渓紅葉シーズンである11月の商店街の1日あたりの歩行者通行量は、足助商工会前地点で約600人～700人である。

◆足助地区歩行者通行量(調査日時 H19年11月18日(日)、21日(水) 9時～17時)

| | 休日(11/18日) | | 平日(11/21水) | |
|----------|------------|-----|------------|-----|
| | 北行 | 南行 | 北行 | 南行 |
| 足助商工会前 | 679 | 783 | 570 | 496 |
| 足助郵便局前 | 479 | 491 | 583 | 512 |
| JAあいち豊田前 | 262 | 262 | 252 | 187 |

←太枠(北行)は香嵐渓から街(商店街通り)に向うルートの一つと想定される。

③ 従来から周辺市町への消費流出が高く、足助地区の商業は小売吸引力が低い

◆小売吸引力の推移

| | 平成14年 | 平成16年 |
|------|-------|-------|
| 足助地区 | 0.52 | 0.51 |
| 豊田市 | 0.89 | 0.90 |

IV 基本方針と目標指数

1 活性化の基本方針

(1) 活性化の方向性

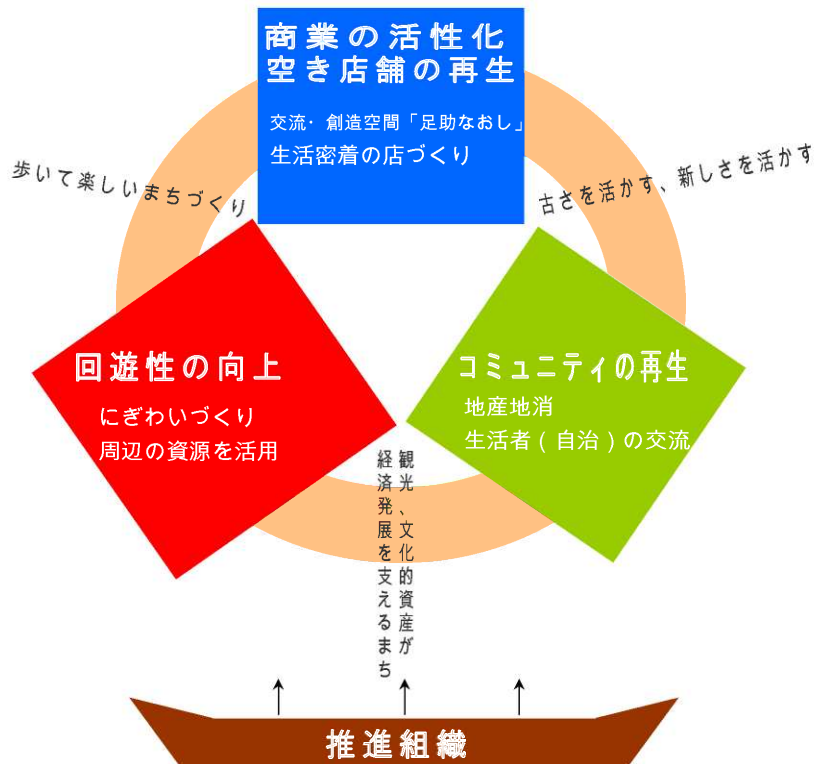
- 足助地区商業の魅力向上のため、空き店舗への対応や新規創業者の導入や誘致が必要。
- 魅力的な観光資源や街並みを活用し、着実に高いに結びつける方策が必要。
- 高齢化社会に備え、町民及び町周辺の日常の買い物に十分対応できることが必要である。
- 事業を効率的かつ効果的に推進するための組織づくりが必要である。

(2) 基本方針

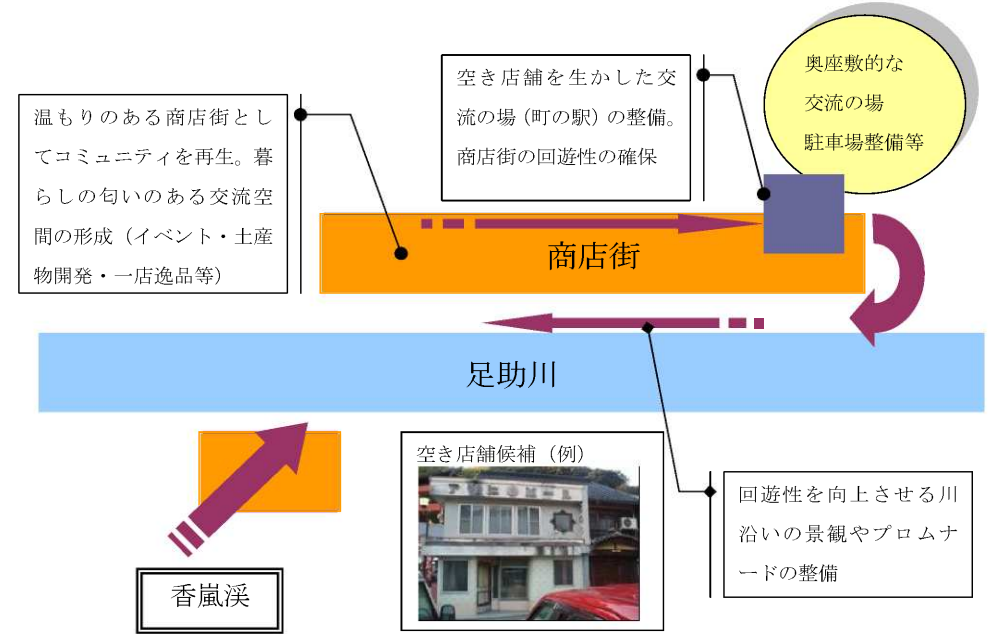
コンセプト

**“江戸から昭和までの時代”“四季”を感じるまちの中で、
本物売る商店街を目指します。**

足助の伝統的、歴史的な建物や四季折々の自然は本物です。
街並みの真価はハードだけではなく、ソフト活動(=商店街活動)と思います。
本物売るということは、土産物とか特殊な商品を仕入れて売るのはではなく、お客さんが買い求めてよかったとか、安心できるとか、また行って見ようと思うことを提供できることと位置づけました。



(3) 整備のイメージ



2 目標指数

- ① 足助地区商業の魅力向上
- ・営業店舗数の増加を目指す → 10店舗増加
 - ・空き店舗の解消を目指す → 10軒空き店舗解消
 - ・小売販売額の増加を目指す → 3%増加

- ② 観光資源や街並みを活用した回遊性の向上
- ・歩行者通行量の増加を目指す → 平常時10%増加、繁忙期20%増加

- ③ 足助地区の日常の買い物への対応が向上
- ・小売吸引力の向上を目指す → 0.51(H16年現在)を0.52に引き上げる

※目標数値は平成22年度(3年間)の達成目標である。

V 取り組み内容

1 事業一覧

| 基本方針 | 事業名 | | | 内容 | 区分 |
|--|-----|----|----------------------------|--|-------------|
| 商業の活性化 空き店舗の再生 交流・創造空間「足助なおし」 生活密着の店づくり | 1 | 新規 | 空き店舗活用 | ・空き店舗調査、必要業種の検討 ・活用プラン構築 ・具体的な活用、実施 | 個店 |
| | 2 | 新規 | 『あすけぬくもりコレクション』の育成(一店逸品運動) | ・『あすけぬくもりコレクション』現在20軒を拡充 | 個店 |
| | 3 | 新規 | 塩の道づれ(市の開催) | ・塩の交流 ・地産地消による周辺住民との交流 ・月1回、市を開催 | 集客 (ソフト) |
| | 4 | 継続 | ポイントカード推進事業 | ・加盟店の拡大・端末機の更新の検討 ・顧客管理可能なシステムの導入を検討 | 集客 (ソフト) |
| | 5 | 継続 | 既存イベントの活用 | ・既存イベントを活用した個店の販売促進活動を支援 | 集客 (ソフト) |
| | 6 | 新規 | 商業に関する調査事業 | ・消費者ニーズ等調査によるPDCAサイクルの確立 | 組織育成 |
| | 7 | 新規 | 利便性向上のための勉強会開催 | ・営業時間20時まで延長等利便性向上の検討 | 環境 |
| | 8 | 新規 | 商店街組織強化事業 | ・発展会の法人化、統合による効率的な事業推進 ・事務局の強化 | 組織育成 |
| | 9 | 新規 | 商店街環境事業の研究、検討 | ・観光案内を兼ねた誘導看板設置の検討 ・街路灯リニューアルの検討・駐車場リニューアルの検討 ・街並み景観にふさわしい意匠の店頭看板設置の検討 | 環境 |
| コミュニティの再生 地産地消 生活者(自治)の交流 | | | | | |
| 回遊性の向上 にぎわいづくり 周辺の資源を活用 | | | | | |

2 関連事業「足助商工会 商業活性化推進交付金事業(案)」

| 事業名 | | | 内容 | 実施時期 | 区分 |
|-----|----|-------------|--|------------|-------------|
| 1 | 新規 | チャレンジショップ事業 | ・空き店舗の活用 ・新規創業者支援 | ・H21～実施 | 個店 |
| 2 | 新規 | 経営支援塾の開催 | ・アドバイザーによる個別指導 | ・H20 10軒実施 | 個店 |
| 3 | 継続 | 商工まつり | ・商工まつりを活用した商店街の情報発信、販促活動 | ・H20～実施 | 集客 (ソフト) |
| 4 | 継続 | 情報発信事業 | ・商店街MAPの作成 ・HP「百万人のネットワーク」活用 ・商工会HPの更新 | ・H20～実施 | 集客 (ソフト) |
| 5 | 新規 | レンタサイクル事業 | ・貸し自転車の実施 | ・H21～実施 | 環境 |

V 取り組み内容

3 事業の具体的内容

| | |
|------|--|
| 事業名 | 1 空き店舗活用 |
| 時期 | H20年度 調査、検討 H21年度 プラン構築、実施 |
| 目的 | 商業の活性化、空き店舗の再生 |
| 内容 | <p>空店舗(空家)を活用し、必要業種や不足業種の充実させる。特に、歴史的、文化的価値ある空店舗(空家)を活用すれば、その建物の保持や町並みの連続性を高めることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空き店舗調査、必要業種の検討 ・活用プラン構築 ・具体的な活用、実施 <p>(空店舗(空家)活用のイメージ)</p>  <p>空家(郷倉)の意匠を有効かつ魅力的に活用する 不足業種、必要業種の導入を検討</p>  |
| 活用施策 | 豊田市ががんばる商店街応援プラン |

| | |
|------|--|
| 事業名 | 2 「あすけぬくもりコレクション」の育成(一店一品運動) |
| 時期 | H20年度 拡充、紹介MAP作成 |
| 目的 | 商業の活性化、空き店舗の再生 |
| 内容 | <p>現状、20店舗が参加し、それぞれのおすすめ商品をPRしている</p> <p>↓</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加店舗の拡大を目指す ・告知の強化として紹介MAPを一新する ・あすけぬくもりコレクション(一店逸品運動)の調査研究 <p>(現在のちらし)</p>   |
| 活用施策 | 豊田市ががんばる商店街応援プラン |

| | |
|------|---|
| 事業名 | 3 塩の道づれ(市の開催) |
| 時期 | H20年度前半 調整 H20年9月頃より実施 |
| 目的 | 商業の活性化、空き店舗の再生、コミュニティの再生 |
| 内容 | <p>古くから「塩の道」の交流地点として栄えたことを活かしたソフト事業を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各地の塩の交流(紹介) ・塩にこだわった商品開発 ・地産地消による周辺住民との交流 ・月1回市を開催  <p>市のイメージ</p> |
| 活用施策 | 豊田市ががんばる商店街応援プラン |

V 取り組み内容

3 事業の具体的内容 つづき

| | |
|------|---|
| 事業名 | 4 ポイントカード推進事業 |
| 時期 | H20年度 現状把握、問題点整理 H21年度 システム構築検討 H22年度 実施 |
| 目的 | 商業の活性化、空き店舗の再生 |
| 内容 | <現状> 会員数27事業所/ポイント売上341万円 ・売上100円につき2円のポイントを付与する。 ・満点カード(350ポイント)1枚につき1回抽選できる年末抽選会を開催。 取組内容 ●顧客管理可能なシステムの構築を検討 ●端末機の更新が必要なので検討したい(H11年度導入) ●加盟店が少なく、八百屋などが加入していないので魅力が半減している。加盟店拡大を目指す。 |
| 活用施策 | 豊田市ががんばる商店街応援プラン |

| | |
|------|--|
| 事業名 | 5 既存イベントの活用 |
| 時期 | H20年度から実施 |
| 目的 | 商業の活性化、空き店舗の再生、コミュニティの再生、回遊性の向上 |
| 内容 | 既存イベント時の集客が個店の営業活動に結びつく方策を検討する。 観光事業とのコラボレーションによるイベントの活用を行う。 <既存イベント> ①「中馬のおひなさん」 時期 2月上旬～3月上旬 集客 8万人(期間計) 内容 商店街通り100箇所以上でおひなさんを展示するおひなさん用餅花、人形、限定飲食物の販売を行う ②「たんころのタベ」 時期 8月上旬～8月15日頃 内容 商店街通り数100器のたんころりんを夕方から並べ情緒溢れる足助の街並みを散策してもらう三味線や琴、相撲甚句等日本文化を街角で披露する ③「あすけなつまつり」 時期 8月13日～15日 集客 1万人(期間計) 内容 13・14日は商店街を流れている足助川に約8千本のローソク(万灯)を灯し、商店街のたんころりん、川岸の万灯のあかりで足助の夏の夜の風情を楽しんでもらう。 また、14日には商店街が歩行者天国にして、露天等の店を開き、近くの足助グラウンドで約4百発の花火を打ち上げる ④「年末大売出し」 期間 12月中旬～年末 参加店舗数 5商店街合同(H19年度)で約130店舗が参加。 実績 抽選券配布枚数 9,500枚 回収数 8,300枚 状況 前年に比べ年末に商店街を歩く人は増えたが売上伸長は？ 抽選会らしい装飾が必要 年末大売出しにふさわしい商品構成や価格の取組みが必要 (例) 1 「中馬のおひなさん」土日の集客イベントの開催 2 「たんころのタベ」営業時間の延長の実施 |
| 活用施策 | 豊田市ががんばる商店街応援プラン |

| | |
|------|--|
| 事業名 | 6 商業に関する調査事業 |
| 時期 | H20年度 実施 |
| 目的 | 商業の活性化、空き店舗の再生 |
| 内容 | ・消費者ニーズ等調査によるPDCAサイクルの確立 ・地元消費者のニーズ調査 ・観光客を対象とした商品のニーズ調査 ・商店街を対象として商業環境調査 |
| 活用施策 | 豊田市ががんばる商店街応援プラン |

| | |
|------|---|
| 事業名 | 7 利便性向上のための勉強会開催 |
| 時期 | H20年度 実施 |
| 目的 | 商業の活性化、空き店舗の再生 |
| 内容 | (例) ① 夏季イベント(たんころのタベ)開催時における営業時間の延長 ② 高齢者向け宅配サービスの実施 ③ 地元消費者への最寄品販売情報の提供 ④ 観光客、地元客それぞれのニーズに答える業種の誘致 |
| 活用施策 | 豊田市ががんばる商店街応援プラン |

※「8 商店街組織強化事業」は8頁の「VI 事業の推進体制」で説明

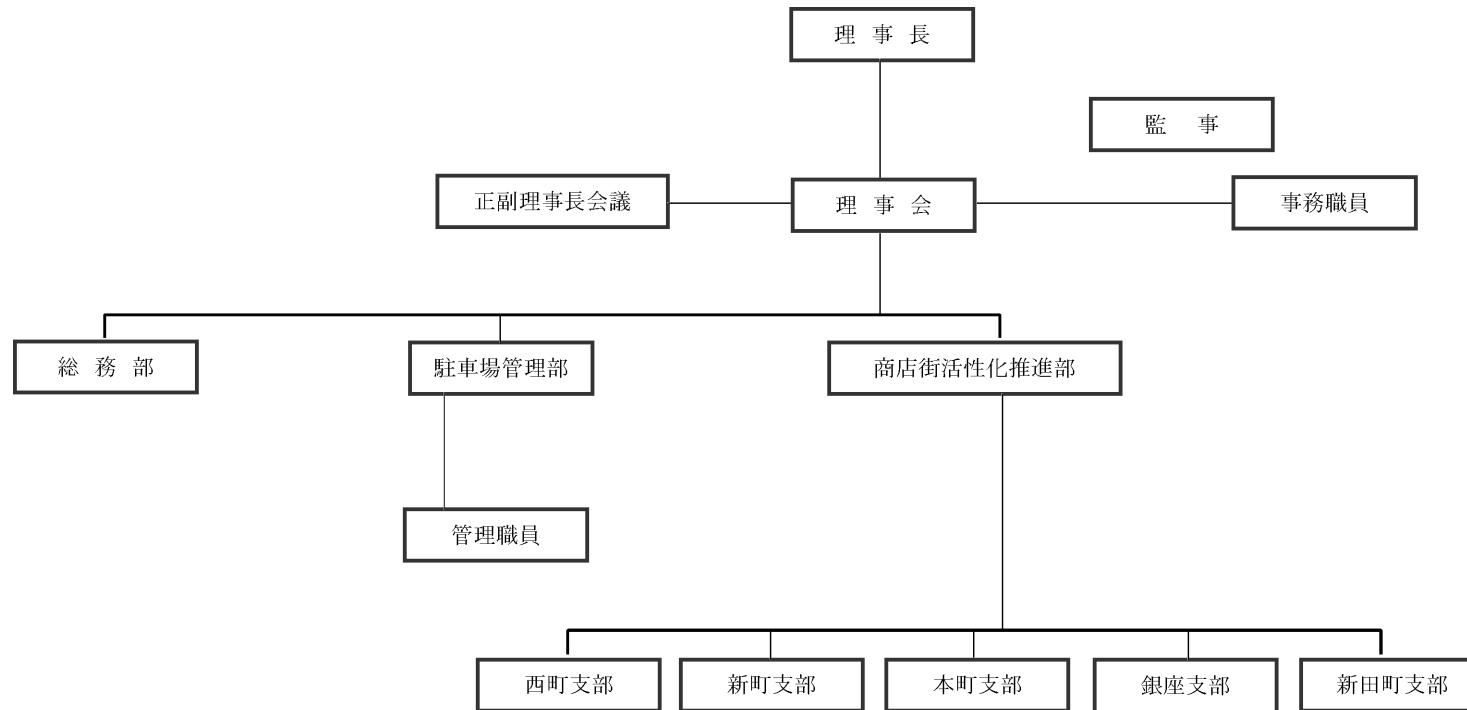
| | |
|------|--|
| 事業名 | 9 商店街環境事業の研究、検討 |
| 時期 | ※基盤整備事業と合わせて検討 |
| 目的 | 回遊性の向上 |
| 内容 | ①誘導看板(サイン)の設置 ②街路灯リニューアルの検討 ③中央駐車場リニューアルの検討 ④ファサード整備事業の検討 1)「重要伝統的建造物群保存事業」に合わせた商業施設の改装等 2)商店街各支部の特徴をモチーフした統一的な看板設置 |
| 活用施策 | 豊田市ががんばる商店街応援プラン まちづくり交付金(ハード整備事業/国、市) |

VI 事業の推進体制

※事業の具体的内容「8 商店街組織強化事業」に該当する

| | |
|-----|--|
| 事業名 | 8 商店街組織強化事業 |
| 目的 | 商業の活性化、空き店舗の再生、コミュニティの再生、回遊性の向上 |
| 内容 | 平成20年度までに、現在の5商店街組織を統合し、法人化する。事務局機能の強化を行う。 |

(仮)足助中央商店街協同組合組織図(案)



※理事定員数17人(理事長1、副理事長3、監事2人含む)・・・地区配分 西町3、新町2、本町4、銀座4、新田町2、員外理事2(監事1含む)

VII 活動記録

1 会議記録

| | | | | | |
|-------|----------------|-----|---|----|-----|
| 策定委員会 | | | | | |
| 1回目 | 平成19年 7月26日(木) | テーマ | ・活性化計画制度説明 ・事業の進め方 | 出席 | 18名 |
| 2回目 | 11月 1日(木) | テーマ | ・活性化計画概要説明 ・基本コンセプトの検討 ・具体的事業の検討 | 出席 | 18名 |
| 3回目 | 12月14日(金) | テーマ | ・作業部会報告 ・活性化計画検討 ・地区説明会開催 | 出席 | 18名 |
| 4回目 | 平成20年 1月15日(火) | テーマ | ・計画書(案)最終確認 | 出席 | 11名 |
| 作業部会 | | | | | |
| 1回目 | 平成19年 8月17日(金) | テーマ | ・合同イベントについて ・組織統合について | 出席 | 11名 |
| 2回目 | 8月28日(金) | テーマ | ・まちづくり交付金事業について ・視察研修について ・商店街の方向性 ・空き店舗調査について | 出席 | 17名 |
| 3回目 | 9月12日(木) | テーマ | ・まちづくり交付金事業について ・組織統合条件 ・今後の日程について ・年末売り出しについて | 出席 | 15名 |
| 4回目 | 10月14日(木) | テーマ | ・足助商店街のあり方 ・商店街活性化メニュー ・空き店舗調査について ・発展会統合の進捗状況 | 出席 | 20名 |
| 5回目 | 10月18日(木) | テーマ | ・組合加入調査 ・活性化方針及びメニュー ・年末売り出し | 出席 | 8名 |
| 6回目 | 10月25日(木) | テーマ | ・年末売り出し | 出席 | 7名 |
| 7回目 | 12月 6日(木) | テーマ | ・年末売り出し | 出席 | 7名 |

2 計画策定委員

| 役職 | 氏名 | 所属 | 適用 | 部会 |
|--------|---|--|---|---|
| 委員長 | 古池嘉和 宇井司郎 | 名古屋学院大学教授 足助商工会会長 | | |
| 副委員長 | 小松正伸 鈴木章 | 同副会長 同副会長 | | 1 2 |
| 作業部会長 | 佐久間章郎 増田賢信 橋本忠幸 加藤哲久 板倉功 鈴木智 村松明美 安藤美智子 荒木淳子 近藤千草 鱸 雅守 近藤康次 兼子雅彦 河合康男 森瀬仁 鈴木克博 | 同理事 発展会代表 発展会代表 発展会代表 発展会代表 発展会代表 女性代表 女性代表 女性代表 女性代表 足助観光協会 足助自治区代表 (株)三州足助公社 たんころの会代表 青年部代表 青年部代表 | 発展会統合検討委員 発展会統合検討委員 発展会統合検討委員 発展会統合検討委員 発展会統合検討委員 発展会統合検討委員 商工会女性部部长 商工会女性部部长 商業者 商業者 観光協会事務局長 足助自治区町づくり部会 | 1・2 1・2 1・2 1・2 1・2 1・2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 |
| オブザーバー | | 豊田市都市整備課 豊田市足助支所 | | |
| 事務局 | 秋本正之 柴田栄 安藤幹 | 足助商工会事務局局長 同経営指導員 同経営指導員 | | |

(敬称略)

3 視察記録

| | |
|------|---|
| 視察日時 | 平成19年9月18日(火) |
| 視察場所 | 半田市、常滑市 |
| 参加人数 | 20名 |
| 視察内容 | 半田TsCAFE視察、グランシティー半田(ショッピングセンター)視察 半田のまちづくり会社が経営している昔の女学校を活用したカフェの見学 常滑 大野町(古い街並み)散策 常滑屋にて、常滑屋の生い立ち、常滑散歩道の現状、商店街活性化策 について説明を受け散歩道を散策 |
| |   |

4 調査実施記録

- 歩行者通行量調査
実施日 平成19年11月18日(日)、21日(水)9時～17時
- 空家・空き店舗基礎調査
調査結果 29件